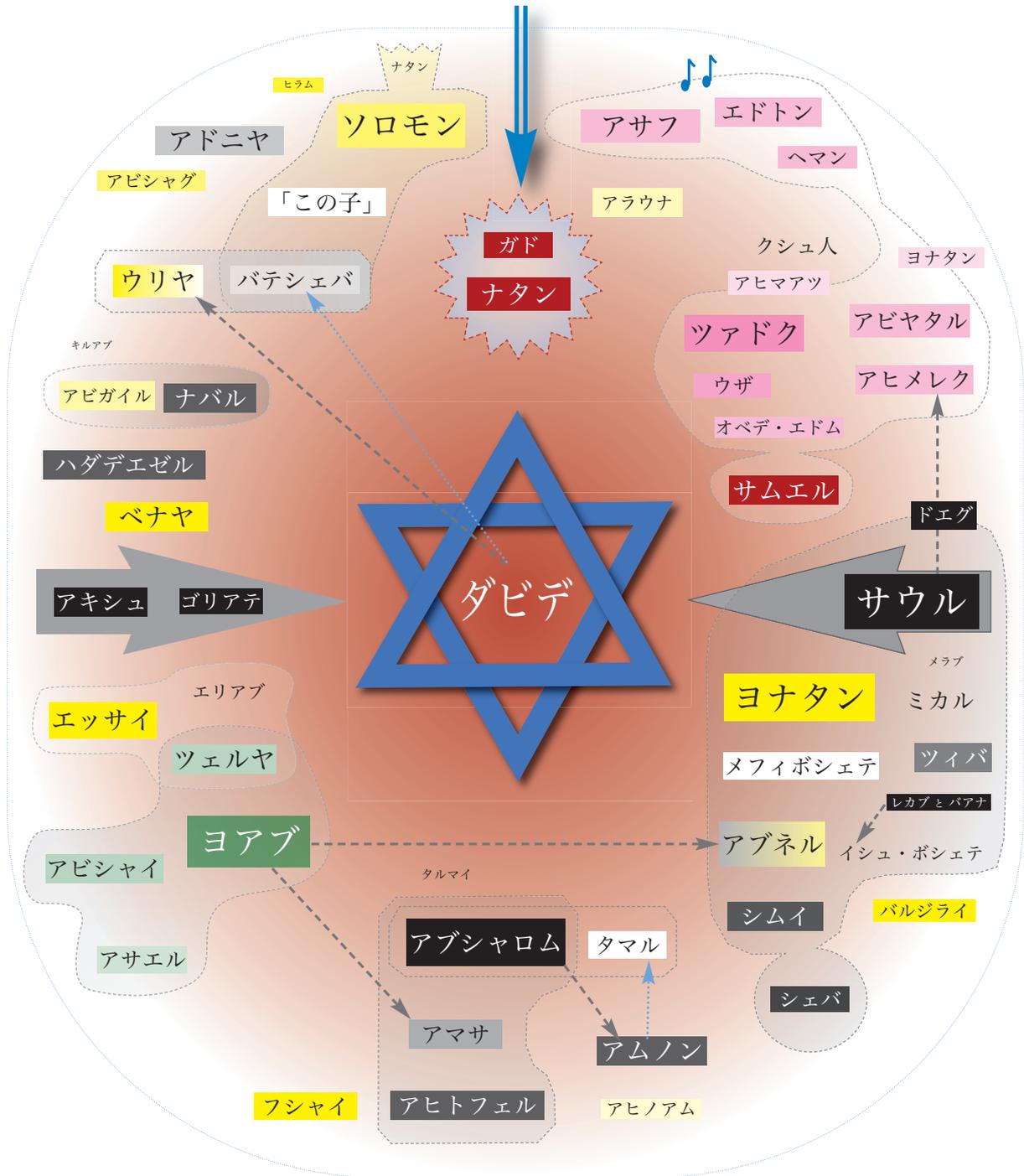


ダビデを



取り巻く人々

ナタンとガドについて

1.) ナタン、ガド、サムエルは、主がダビデに遣わした預言者でした。ナタンの働きは、ダビデが王になってからの主に2サム7-12章、そして1歴代1章のダビデからソロモンへの移行期のところに記されています。

2.) 預言者ガドは、ナタンほど良く知られていませんが、1サム22:5にナタンより先に出現しています。彼はサウル王から逃げる次期王に対して働きました。また2サム24章でも、彼が出ています。ですから、彼の事はサムエル記に2回しか出て来ませんが、彼は長い年月の間働きました。

3.) その間にガドのした他の事は、1歴代29:29と2歴代29:25に見られます。彼もナタンも、2人とも書記の仕事にも携わっていたようです。後に、彼らの書いたものは、歴代誌の著者にとって大きな助けになりました。また、ナタンとガドが、ユダヤ人の礼拝にも大きく関わっていた事もわかります。

4.) ナタンは、バテ・シェバとウリヤに対する罪をダビデに指摘した事で、良く知られています(2サム11-12章)。しかし彼が最初に現われるのは、ダビデが彼に神殿を建てる事で相談する、7章においてです(この事も、彼が公けの礼拝に深く関わっていた事を表わします)。同じ章で、神様はナタンを通してダビデとの契約を与えられました。

5.) ガドは、ダビデが将来の神殿のために土地を買うという事柄において一番良く知られています。2サムエル記は、ダビデの罪の悔い改めの後、主のあわれみであるこの話で締めくくられています。同じように2サム12章では、ナタンの働きを通して、悪い状況が良いものへと変えられた事が記されています。

6.) ナタンは、ガドよりも長生きしたかもしれません。彼はダビデの後ソロモンが王になることを見届けましたから。私たちが知る限り、ガドはそこにいませんでした。神様は、先にナタンを通してダビデに、ソロモンが彼の後継者となる事を示唆しました(2サム12:24-25)。興味深い事には、ダビデとバテ・シェバとに生まれたもう一人の息子は、ナタンと名づけられました(ルカ3:31)。預言者ナタンへの敬意からかもしれません。

7.) ワークシートには、中心の質問が一つと、その下にそれに関連したいくつかの質問があります。「ナタンとガドは、ダビデの生涯の中で一番重要な人物でしたか？」ある意味で答えることのできない質問です。なぜなら、人々は皆何らかの意味でそれぞれ重要だからです。例えば、ある意味で、その人の両親ほど重要な人物はいないでしょう。それでも、この質問を考えるのは意義あることです。

8.) この学びを適用する一つの良い方法は、自分の今までの人生において大きな霊的な影響を与えた人々(牧師、伝道師、教師等)をリストアップする事です。そしてその人たちの故に、神様に感謝しましょう。もし可能であれば、その人たちに、実際に感謝の意を表わす事ができれば、さらに良いでしょう。ナタンとガドのような神の預言者がいなかったなら、ダビデの生涯はどんなに違っていたでしょうか。私たちの人生においても、神様が送って下さる助言者たちについて、同じ事が言えるのではないのでしょうか。

ナタンとガドは...

1サム22:5, 2サム7:1-17, 12: 1-15, 24-25, 24:10-19, 1列王1:8-40, 1歴代29:29, 2歴代29:25
合っていると思うものには○、違っているものには×、どちらでもないものには△をつけましょう。

() ダビデの生涯の中で最も重要な人々？

- () 一度も問題を起こさなかった？
- () 一度も間違わなかった？(2サム7:1-4, 12-13)
- () ダビデに関わった唯一の預言者たち？(1歴代25:1,5)
- () ダビデの他の助け人よりも多く言及されている？

- () 預言者としてダビデに毎日語った？
- () 主によってダビデに遣わされた？(7:5-6, 12:1,25, 24:11-12)
- () 重要な書記／記録者？(1歴代29:29)
- () エリヤやエリシャのような、奇跡を行なう預言者？

- () ダビデにとってヨアブよりも助けになった？
- () ダビデにとってサムエルよりも助けになった？
- () ダビデにとってバテ・シェバよりも助けになった？
- () 2人とも同じくらい助けになった？(1歴代29:29, 2歴代29:25)

- () ダビデのように敬虔だった？(2歴代29:25)
- () ヨナタンのように良き戦士で勇敢だった？
- () ダビデにとって親のような存在だった？(1サム22:3-5)
- () 私の人生の中で、 _____ のよう？

結論と適用

ナタンとガド

預言者ナタンとガドは、ダビデの生涯において、他の誰よりも大きな靈的影響を与えた、と言えるでしょう。少なくとも、聖書を見る限りにおいては、そうです。もしかしたら、ダビデの両親はより大きな影響を与えたかもしれませんが、それは記されていません。サムエルももちろん、重要な存在でしたが、二人の預言者ほど長くダビデとは一緒にいませんでした。

ナタンとガドは、完全な人間ではありませんでしたし(2サム7:1-4,12-14)、他のある人々ほど多く聖書に出ていません。しかしそれでも、彼らはダビデに大きな影響を与えました。ですから、彼らがダビデと過ごした時間の長さではなく、その内容が大事だったと言えるでしょう。彼らは、何回か神様からダビデへのメッセージを預かって、遣わされました(2サム7:5-6,12:1,25, 24:11-12)。ダビデに働いたのは、実際は神様でした。二人の預言者を通して。

旧約時代の預言者たちの働きは、主に神様の言葉を伝える事でした。エリヤやエリシヤのように奇跡を行なった預言者たちもいましたが、ナタンとガドにそれは必要ありませんでした。実際、もし彼らが奇跡を行なう者たちであったなら、それは返って神様のダビデとダビデの家に対する働きを妨げる事になったでしょう。

ナタンとガドから、私たちが学んで適用できる事は2つあります。1つは、神様が遣わして私たちに靈的影響を与えた人々に感謝する事。ダビデは自分の息子の一人に、ナタンという名前を付けました。それは明らかに預言者ナタンに対する敬意の表われでしょう。私たちも、私たちのために働き、また助言する人たちに対して、感謝の気持ちを表わしましょう。

もう1つの適用は、私たち自身も、主のために他の人々に良い証し、また影響を与えるように、祈りまた励む事です。もちろんそうできるようになるためには、日々主と共に歩み、主の言葉に聞かなければなりません。ナタンとガドもそうでしたが、主が御言葉を通して、知恵と力を与えて下さるのでなければ、私たちは自分の力ではできません。しかし感謝な事には、ナタンとガドは特別に預言者として選ばれて用いられたのですが、新約時代に生きる私たちクリスチャンは皆、彼らのように、それぞれ主に用いられる可能性があるのです。

最後に、2つの注意点です。1) もし私たちが主と共に歩んでいないのなら、神様が誰かを通して自分に働きかけて下さる事を、期待すべきではありません。主はもしかしたらそうされるかもしれませんが、そうしないかもしれません。(サムエルは、サウルのための働きを止めました。) 2) 私たちは自分の子どもたちに対して、自分が何もしていないのに、主が教会や日曜学校、または牧師などを通して働いて下さる事を期待すべきではありません。神様はそれぞれの家庭も、また教会も用いられます。主に仕える人たちの故に感謝しましょう。しかし、クリスチャンの親にも感謝しましょう。ダビデの両親のように、親の働きはしばしば目立たないものです。